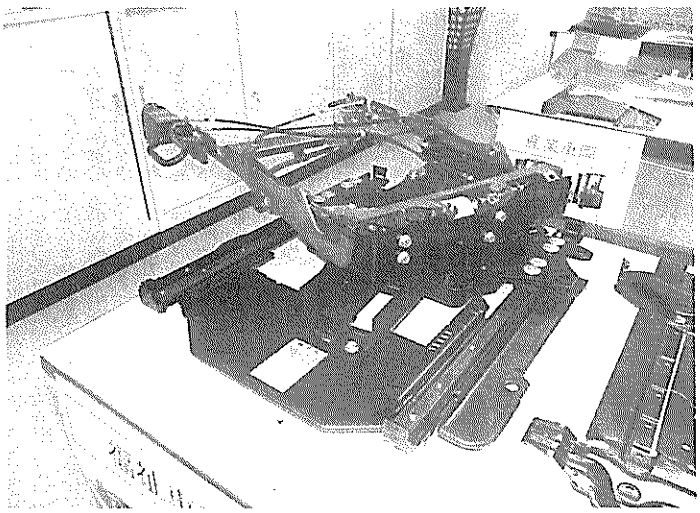
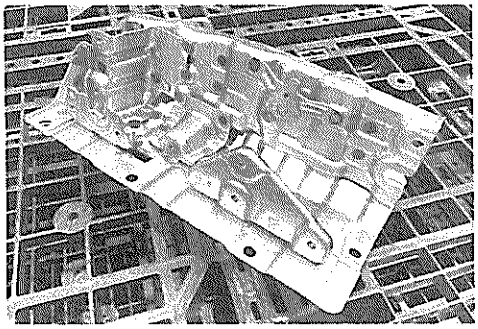
現場ルポ

ツルタ製作所（愛知県・刈谷市）

トヨタ福祉車両部品を溶接
溶接とプレスの一貫体制



福祉車両部品



プレスと溶接工程を経て製作

鶴田会長

ツルタ製作所（愛知県刈谷市、鶴田昌宏会長CEO）は、高精度の溶接とプレス加工を特徴として、エンジン部品やマフラーをはじめとした自動車部品の製造や、福祉車両、フォークリフトなどの自動車、特殊車両の製造を手掛ける。刈谷市の本社工場のほか、岐阜県にも3工場を持ち、スポットやアークの溶接ロボットを多数保有して設計から製造までの一貫生産を強みとしている。

鶴田会長は「他社が断った案件を何とかして実現をしてきたことが信頼と成長につながった」と語る。また同社は「従業員を大切にする企業」としても広く知られる。企業経営に対する取り組みを探る。

◇　◇

同社は1958年に創業、当初は豊田自動織機のプレス加工を行っていた。その後溶接加工に進出し、現在は金型製作からプレス、溶接、組み立てまでの一貫生産体制を構築する。刈谷市の本社工場の他、2019年には、岐阜県御嵩町に岐阜県内で3つ目となる工場も新設し大型の500㌧プレス機や、新型のスポット溶接ロボットなどを導入した。現在は合計4工場体制で生産を行っている。

同社で主力事業の一つに成長したのが、トヨタの福祉車両（ウエルキャブ）のユニットである。溶接数は100ヵ所、アーク溶接長さは1500㍍に及ぶ。強度を確保するための鋼材の厚みを得ながら、部品を溶接を多用しながら製作する。今年に延期となった東京五輪・パラリンピックにおいても選手や関係者が使用をする予定だ。

福祉車両の乗り降りに多く使用される回転シートを例とすると、長さ700㍉幅400㍉の回転部分は4つのユニットで構成されるメリットを生かし、溶接専用ジグも自社で製作をするなど、自動車部品企業が集積をする愛知県において欠」（鶴田会長）。

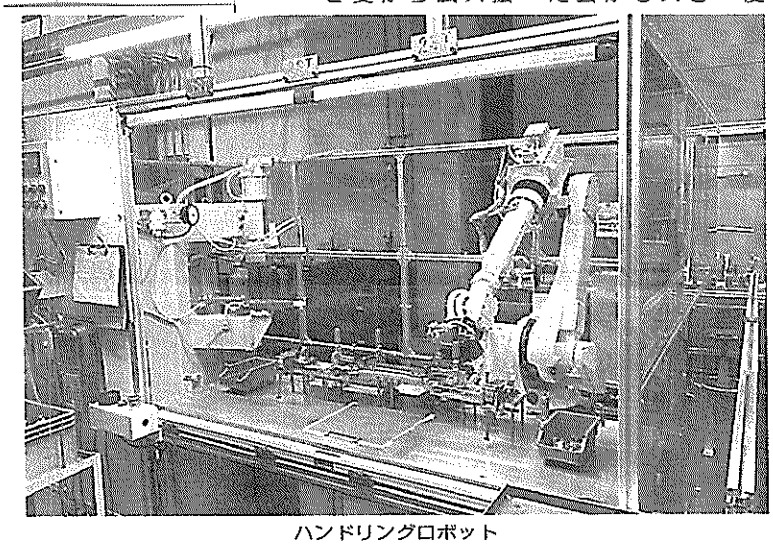
部品点数が多くなるほど、溶接ジグも大きくなり作業者の労務も過酷になる。「ガンタイプのスポット溶接では、狭い部分の溶接はできない。作業者の負担はジグに部品を取り付けるだけとなり、結果として製品質も向上した」（同）

鶴田会長は銀行系コンサルタントの出身。人材育成を企業発展の礎と考える。性別を問わず育児休業の取得率80％以上を目標とするほか、ノー残業デーの実施など社員が働きやすい環境を整えることで、能力を発揮させる。現場のすべての社員が多能工となることを目指し、採用後最初の5ヵ月間はすべての部署を経験する。

また地域の特別支援学校から障害のある生徒の採用も続けている。事前のインターンシップを通じて適性を見極めた教育をしっかり学校で受けている」「当社の社員は彼らが任された業務をできるようになるまで、根気よく何度も何度も繰り返し指導をする、我社にとっては大変優秀な人材」との思いを持つ。

また「仕事に男女の区別はないというのが会社の精神」と掲げるように、生産現場でも女性が活躍。育児休暇も女性だけでなく男性社員も取得する。「育児の大切さ、子育ての大変さを知ることは、人づくりの大変さに通じる」。

こうした取り組みが評価され、これまでには経済産業省の「地域未来牽引企業」「はばたく中小企業300社」や刈谷市が認定する「ハーモニーカンパニー」などに認定されている。今後も高度な技術とそれを支える人材を2本の柱にさらなる成長を目指す。



ハンドリングロボット

工場内のロボットや溶接機はメーカー最新鋭の機種を他社に先駆けて導入し、ロボットオペレーターは豊田自動織機の溶接道場で研修を受講するなど品質確保への追及も欠かさない。金型設計の技術や大型プレス機を保有するメリットを生かし、溶接専用ジグも自社で製作をするなど、自動車部品企業が集積をする愛知県において欠」（鶴田会長）。

部品点数が多くなるほど、溶接ジグも大きくなり作業者の労務も過酷になる。「ガンタイプのスポット溶接では、狭い部分の溶接はできない。作業者の負担はジグに部品を取り付けるだけとなり、結果として製品質も向上した」（同）

鶴田会長は銀行系コンサルタントの出身。人材育成を企業発展の礎と考える。性別を問わず育児休業の取得率80％以上を目標とするほか、ノー残業デーの実施など社員が働きやすい環境を整えることで、能力を発揮させる。現場のすべての社員が多能工となることを目指し、採用後最初の5ヵ月間はすべての部署を経験する。

また地域の特別支援学校から障害のある生徒の採用も続けている。事前のインターンシップを通じて適性を見極めた教育をしっかり学校で受けている」「当社の社員は彼らが任された業務をできるようになるまで、根気よく何度も何度も繰り返し指導をする、我社にとっては大変優秀な人材」との思いを持つ。

また「仕事に男女の区別はないというのが会社の精神」と掲げるように、生産現場でも女性が活躍。育児休暇も女性だけでなく男性社員も取得する。「育児の大切さ、子育ての大変さを知ることは、人づくりの大変さに通じる」。

こうした取り組みが評価され、これまでには経済産業省の「地域未来牽引企業」「はばたく中小企業300社」や刈谷市が認定する「ハーモニーカンパニー」などに認定されている。今後も高度な技術とそれを支える人材を2本の柱にさらなる成長を目指す。